

アンケート調査内容（概要）について

1 市民アンケート調査概要

設問項目	調査目的
問1 回答者属性 性別、年齢、職業、居住地(町丁目まで)、身体的な状況、同居者	問2以降の設問回答との組み合わせにより、ライフスタイルと利用実態等の関係を把握する。
問2 通勤・通学に関する移動の実態 頻度、行先、移動手段、所要時間、出発・帰宅時刻、満足度、 移動手段での困りごと	回答者の市内での移動実態とその満足度を外出目的別に確認する。
問3 日常の買物に関する移動の実態 頻度、行先、移動手段、所要時間、満足度、移動手段での困りごと 買物へ出かけない方の日用品等の調達方法	日常の買物については、買物を主目的として外出する場合に限定して確認し、それ以外の方はどのように食料品や日用品を調達しているかを確認する。 通院については、一時的なケガや病気によるものではなく、定期的な通院を対象とする。
問4 通院に関する移動の実態 定期通院の有無、頻度、行先、移動手段、所要時間、満足度、 移動手段での困りごと	通勤・通学、買物、通院以外の移動の実態では、外出目的を最初に確認することで、回答者が自身の移動を振り返りやすいよう配慮した。
問5 通勤・通学、買物、通院以外の移動の実態 外出の目的、頻度、行先、移動手段、満足度、 移動手段での困りごと	目的別に、移動実態や、その満足度と困りごとを確認することで、市内の様々な移動について、現状を把握するとともに、その課題を把握する。
問6 鉄道について 利用頻度、最も利用する市内の鉄道駅、駅までの移動手段、 駅までの所要時間、各項目に対する満足度・重要度	
問7 市内の路線バス・はなバスについて 利用頻度、最も利用する市内のバス停、バス停までの移動手段、 バス停までの所要時間、各項目に対する満足度・重要度	移動手段別に、利用頻度や、駅・バス停までの移動方法、その所要時間、各手段の項目別に満足度と重要度を確認する。
問8 市内のタクシーについて 利用頻度、タクシーの利用方法 各項目に対する満足度・重要度	自動車等、自転車については、代替手段について確認する。また、自動車等の利用頻度が高い回答者の、公共交通に対する意識をクロス集計することで、公共交通への転換の可能性を探る。
問9 自動車等(バイク含む)の利用について 運転免許証保有状況、自動車等の保有状況、 自動車等での行先・利用頻度、利用理由、 自動車等の代替手段、今後の自動車等の利用意向	自転車については、シェアサイクルの認知度や利用経験、利用経験がある場合にはその使い方を確認する。
問10 自転車の利用について 自転車の保有状況、利用頻度、利用する理由、 自動車等の代替手段・理由、 シェアサイクルの認知度、利用経験、利用の内容	交通手段別に利用実態や細かい満足度・重要度を確認することで、現状を把握するとともに、その課題を把握し、今後実施する施策の検討や、その優先順位について検討する材料とする。
問11 市内交通環境の満足度と公共交通に対する考え 市内交通環境の満足度、公共交通の役割、	交通環境の満足度と重要度、市民が考える公共交通の役割を確認し、持続可能な公共交通を目指すための施策について検討する。
問12 自由意見	

2 中学生アンケート調査概要

設問項目	調査目的
問1 回答者属性 学年	問2以降の設問回答との組み合わせにより、各属性の利用実態等を把握する。
問2 交通手段別の利用状況等 (電車、路線バス、はなバス、タクシー、自転車) 利用の有無、行先、同行者、利用時に困ること	手段別に、中学生の利用実態を把握する。また、利用時に困ることを聞き、子どもの視点から見た課題を把握する。
問3 公共交通の役割 公共交通の役割	子どもの視点から考える公共交通の役割を確認し、市民アンケートの回答と対比しながら、持続可能な公共交通を目指すための施策について検討する。
問4 将来の自動車等の保有意向 保有意向	中学生の意向と、他の世代の保有状況との差について分析する。
問5 10年後の公共交通等の理想の姿	子どもの視点からみた10年後の公共交通の理想の姿を聞き、市民アンケートの回答と対比しながら、今後のあるべき姿を検討する。